

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	論理学		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	広川 明					
科目目標	筋道に沿った思考の形成および構造を理解し、文章の書き方、表現法、論理的思考方法を理解する。					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	3	論理学と論理トレーニング		講義	広川	
2	3	接続語の用法		講義	広川	
3	3	論証とは何か		講義	広川	
4	3	論証図式		講義	広川	
5	3	論証の評価		講義	広川	
6	3	テーマを深める		講義	広川	
7	3	文章の構成		講義	広川	
8	3	価値評価		講義	広川	
9	3	立証・批判・異論		講義	広川	
10	3	まとめと終了試験		講義・試験	広川	
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	講師が準備したプリントですすめる					
参考文献	野矢茂樹「新版論理トレーニング」(産業図書) ノルト・ロハンティン著加地大介訳「現代論理学(Ⅰ)」(オーム社)					
備考	1コマ3時間を1回の講義とする					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	教育学		学年時期	2年 前期		
担当講師 (実務経験)	久保 明博					
科目目標	教育学の基本原理について学び、教育の現代的な状況や課題に留意しながら、看護・医療にかかわる者として、人間の発達や社会との関係の視点で考え、判断できる能力の基礎を培う。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	オリエンテーション 教育学とは何か			講義	久保
2	2	教育とは何か (教育の概念、子ども観と発達)			講義	久保
3	2	近世学校の始まり (日本や世界の学校)			講義	久保
4	2	教育をなりたいさせるもの(教えること、学ぶこと)			講義	久保
5	2	他者とのかかわり(いじめの現状と課題)			講義	久保
6	2	養護と看護(学校の養護の機能と養護教諭)			講義	久保
7	2	発達と教育(子どもから高齢者の発達理解)			講義	久保
8	2	学びの場(家庭と学校、不登校の現状と課題)			講義	久保
9	2	教育の目標と評価(目標・評価論の現在)			講義	久保
10	2	現代教育改革(現状と課題、未来の学校構想)			講義	久保
11	2	キャリア教育と生涯学習(リカレント教育)			講義	久保
12	2	ジェンダーと教育(現状と課題、LGBTQ)			講義	久保
13	2	特別ニーズ教育とインクルーシブ教育			講義	久保
14	2	シティズンシップ教育(現代的論争問題)			講義・GW	久保
15	2	まとめと終了試験			試験	久保
評価方法	終了試験(筆記試験及びレポート課題)及び授業中の積極的態、毎時間の小レポートをもって総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院					
参考文献	各テーマに沿った各種メディア(書籍、DVD、新聞資料等)					
備考	主体的、対話的、深い学び合いの楽しさを体得しながら、教育学の基礎について学び、看護師としての生涯学習へと紡いでいきたい					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	哲学		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	広川 明					
科目目標	代表的な哲学者の思想に触れ、哲学の思索の流れを体系的に学び、人間のあり方を問う。					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	3	生と死についての問い		講義	広川	
2	3	死の人称性		講義	広川	
3	3	死の生の意味		講義	広川	
4	3	「イワン・イリッチの死」		講義	広川	
5	3	必然性と運命		講義	広川	
6	3	決定論と運命		講義	広川	
7	3	運命への態度		講義	広川	
8	3	生きがいの対象		講義	広川	
9	3	生きがいの喪失		講義	広川	
10	3	新しい生きがいを求めて まとめと終了試験		講義・試験	広川	
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト 参考文献	講師が準備したプリントですすめる					
備考	1コマ3時間を1回の講義とする					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	心理学		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	村上 義次					
科目目標	人間の心理と行動のもとにある原理を学ぶ。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	心理学とは			講義	村上
2	2	感覚・知覚の心理			講義	村上
3	2	記憶の心理			講義	村上
4	2	思考・想像の心理			講義	村上
5	2	心理アセスメント			講義	村上
6	2	学習の心理①			講義	村上
7	2	学習の心理②			講義	村上
8	2	感情・情緒の心理			講義	村上
9	2	適応の心理			講義	村上
10	2	性格の心理			講義	村上
11	2	集団の心理			講義	村上
12	2	発達心理			講義	村上
13	2	カウンセリング①			講義	村上
14	2	カウンセリング②			講義	村上
15	2	医療と心理学 まとめと終了試験			講義・試験	村上
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統別看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院					
参考文献						

分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30
授業科目	情報科学	学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	吉本 博明				
科目目標	保健医療分野における情報の意味、意義、および適切な取り扱い方法を学ぶ。また、パソコンを使用した文書作成、データ処理、プレゼンテーション方法を具体的な事例をもとに習得する。				
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
1	2	イントロダクション①本講義の進め方と評価方法②情報とは何か	講義	吉本	
2	2	情報倫理とは①患者の権利とプライバシー②プライバシー侵害事例	講義	吉本	
3	2	看護における情報①医療情報システム②理解度テスト	講義	吉本	
4	2	文献データの取扱いと整理法①文献データベースによる文献検索②Mendeleyによる文献情報の整理	講義	吉本	
5	2	ワードによる文書作成① ①文書作成の各種フォーマット②文書作成に必要なコマンドとショートカット	講義	吉本	
6	2	ワードによる文書作成② ①IMRADとは②図表添付の方法	講義	吉本	
7	2	ワードによる文書作成③ ①文書を整形する、Mendeleyと連携する②覚えておくとよい機能	講義	吉本	
8	2	エクセルの基本操作を学ぶ ①エクセル入力の基本②仕事を早くする便利な機能	講義	吉本	
9	2	エクセルによるデータ解析 ①統計データの考え方②Statcel3による統計解析	講義	吉本	
10	2	エクセルでグラフを作る ①実験データで図表を作る	講義	吉本	
11	2	パワーポイントによるプレゼン制作① ①パワーポイントの基本操作	講義	吉本	
12	2	パワーポイントによるプレゼン制作② ①学会発表をつくる	講義	吉本	
13	2	パワーポイントによるプレゼン制作② ①学会発表をつくる	講義	吉本	
14	2	プレゼンテーション① *発表によって評価します	演習	吉本	
15	2	プレゼンテーション② *発表によって評価します	演習・試験	吉本	
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する				
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト	系統別看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院				
参考文献	柳井久江著「4 Stepsエクセル統計」オーエムエス出版 吉本博明著「DK Methods医・薬・生物系 看護研究のための統計処理はじめの一步part1 「対応のないパラメトリックなデータを比較する」 kindle電子書籍 竹内正弘監訳代表「p値とは何か：統計を少しずつ理解する34章」丸善出版				
備考	講義は大きく前半と後半に分かれる。1～4回は看護において必要な情報の知識を講義する。5～13回はMicrosoft Word、Excel、Powerpointを実際に使用しながら課題として提示した文書作成を実際にPCを使用しながら作成する。最終的に完成したPowerpointを用いて、14回・15回で全員プレゼンを行ってもらう。PCは学校設置のものを使用するが、自分のノートPCを持参することを推奨する。また、メールによる課題提出もあるので、PC用のメールアドレスを事前に用意すること。				

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	人間工学		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	大河内 康正					
科目目標	物理的現象に関する基礎的知識や法則を学び、人間工学的立場から看護場面に応用できる能力を養う。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	ボディメカニクスと人間工学 力のベクトル・スカラーとは	講義	大河内		
2	2	ベッドからストレッチャーへの移動 包帯の巻き方、テープのはがし方、牽引、テコの話、ピンセット、鉗子	講義	大河内		
3	2	仰臥位から側臥位への体位変換 ベッド上での上方に移動するとき 重いものを持ち上げるとき	講義	大河内		
4	2	長座位から端座位への体位変換 仰臥位から長座位への体位変換	講義	大河内		
5	2	ディスプレイ・コントロールと人間工学 アナログ・デジタル信号、絞切り型思考機器のレイアウト	講義	大河内		
6	2	屈折、全反射、ファイバースコープ 作業システムと作業空間の設計と人間工学	講義	大河内		
7	2	視線の設定、作業場の設計、リンクについて	講義	大河内		
8	2	リンク分析の方法	講義	大河内		
9	2	総合分析表による装置の配置例 照明装置、騒音対策	講義	大河内		
10	2	看護に欠かせない圧力と人間工学 大気圧、圧力計の単位と応用 酸素ポンベの残量、アンプルやバイアルから薬液をとる時、液注の持つ圧力	講義	大河内		
11	2	点滴と圧力、静脈圧	講義	大河内		
12	2	胃洗浄、2連3連バイアルのつなぎ方、低压持続吸引装置と圧力計のゆらぎ	講義	大河内		
13	2	圧調整用ガラス管の役目 管路における動圧と静圧、血圧	講義	大河内		
14	2	電磁波と人間工学 X線、コンプトン散乱、X線検査 熱現象と人間工学	講義	大河内		
15	2	まとめと終了試験	講義・試験	大河内		
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統別看護学講座 基礎分野 物理学 医学書院					
参考文献						
備考	看護師として必要な知識や技術を身につけておかなければならない。そこで、安全に能率よく、しかも快適に仕事ができるよう物理現象を主に指導する。この期間の中で、中間試験を行う。					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	生涯学習論		学年時期	2年 後期		
担当講師 (実務経験)	専任教員					
科目目標	専門職業人として、生涯にわたって学習することの必要性を理解し、自己のキャリア育成について考えることができる。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	オリエンテーション 生涯学習とは 人間形成と生涯学習 生涯学習の理念 生涯学習の目指すもの	講義			
2	2	生涯学習の制度と内容 生涯学習をめぐる課題 生涯学習に求められているもの	講義			
3	2	キャリアとは 「自分」についての理解 自身のこれまでのキャリアについて可視化	講義 ワーク			
4	2	看護師とキャリア 看護師資格を活かした活躍の場調査	講義 GW			
5	2	看護師資格を活かした活躍の場調査 発表資料作成	講義 GW			
6	2	調査発表 質疑応答	講義 GW			
7	2	これまでの講義内容も参考にして、自身の今後のキャリアイメージを作成	講義 ワーク			
8	1	終了試験	試験			
評価方法	筆記試験、授業態度、課題提出物など総合して評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	新しい時代の生涯学習 第3版					
参考文献	講師が授業中に適宜紹介する					
備考						